



能登半島地震を受けて

校長 遠竹 伸一

穏やかな元日の午後、大川内厳島神社を参拝し、帰宅してテレビをつけたところ、再び信じられない映像が目に飛び込んできました。津波警報と能登の海岸沿いの映像でした。

今回の地震を受けて思い出されるのは、東日本大震災はもちろんですが、29年前の阪神淡路大震災が起こった時のことです。当時、わたしは初任の学校で、震災避難の児童を受け入れることになりました。その子が話してくれたことは、朝5時過ぎの地震発生だったため、暗闇の中何が起こったのかが全く分からなかったということでした。両親にたどり着いて少し安心したときに見たものは、窓の外の火災と散乱したガラスを踏んだことによる血まみれの足の裏だったそうです。その恐怖と痛みを話してくれた表情は、あまりにリアルで今でも忘れられません。

先週本校で実施された地震を想定した避難訓練では、子供たちにもこの話を基に、3つのことを話しました。まず、地震はいつ発生するか分からないので、頭や足下をしっかりと守るということです。家の中でも靴やスリッパを履くことも伝えました。次に、家族と離ればなれになることも想定して、家族の携帯番号等をしっかりと覚えておくことです。最後に、普段から近所の方々とあいさつを交わすなどしてコミュニケーションをとっておくことです。強い味方になってくれるはずだと伝えました。子供たちも、初めて現実の災害の様子を見聞きするからこそ、真剣に話に耳を傾けていました。

また、始業式の児童の言葉の中で、「自分たちはまだ何もできないけど、自分のやるべきことをしっかりやります。」という話がありました。そのこともあって、現在、児童会の計画で、少しでも能登半島の方々を助けたいという思いから募金活動を進めています。できることから始めることの大切さを学んでいくよい機会になりそうです。ご協力よろしく申し上げます。

★生活目標：友達と仲良くしよう。★給食目標：片付けをきちんとしよう。
★保健目標：寒さに負けず体を動かそう。

[2月行事予定]

1日(木) あいさつの日
2日(金) 6年中学校登校日 豆まき
6日(火) 新入生半日体験入学
新規特認生保護者説明会
大川内っ子週間(～13日)
9日(金) 6年中学校登校日
10日(土) 土曜授業日
11日(日) 建国記念の日 12日(月) 振替休日
14日(水) クラブ活動(2年生見学)
15日(木) 児童総会 誕生給食
16日(金) 6年中学校登校日
22日(木) 6年中学校登校日(最終)
23日(金) 天皇誕生日
29日(木) 学級PTA・全体会
学校保健委員会

[3月行事予定]

1日(金) お別れ集会 お別れ会食
交通安全キャンペーン
7日(木) 第4回児童増対策委員会(17:30～)
誕生給食 幼保小連絡会
9日(土) 土曜授業日
12日(火) 移動図書
大川内中卒業式
13日(水) クラブ活動
15日(金) 卒業式予行
20日(水) 春分の日
22日(金) 卒業式
25日(月) 修了式 辞任式
PTA主催転出教職員小中合同送別会(予定)

PTA 全体会・授業参観・学級PTA

1月13日(土)に、PTA全体会、授業参観、学級PTAを行いました。1年生の授業参観・学級PTAが中止になり、ご迷惑をおかけしました。三学期は、今の学年のまとめの学期であり、次の学年や進学に向けての準備の学期になります。子供たちには、短い学期を有意義に過ごしてほしいです。

1年生の授業参観は2月29日のPTA全体会・学級PTA等の前(5校時)に実施する予定です。

県社会教育指導者研修会で実践発表

1月21日(日)に、県民交流センターで行われました鹿児島県教育委員会社会教育課主催の「社会教育関係団体指導者等研修会」にて、本校のPTA活動等について、PTA会長の さんが発表してくださいました。10月のPTA九州大会での発表が好評で「ぜひ本研修会でも発表してほしい。」と依頼を受けてのことでした。

今回の研修会でも、参加された方々が興味をもって聞いてくださり、たくさんの質問が寄せられました。本校の魅力を知っていただく機会にもなりました。徳留さん、ありがとうございました。



鹿児島学習定着度調査(5年生)

1月16日(火)・17日(水)に、5年生・中1・中2を対象として、県下一斉で鹿児島学習定着度調査が行われました。5年生の子供たちは半年前から計画的に過去の問題に取り組んできました。これは単なる試験対策ではなく、今の子供たちが身に付けるべき学力の向上対策とも言えます。身に付けた力をこれからの授業や課題解決にも生かしてほしいです。

避難訓練(地震)

1月18日(木)に地震を想定しての避難訓練を行いました。能登半島地震に関連するニュースが連日放送されている中での訓練でしたので、子供たちも職員も実際に想定して、より真剣に取り組みました。自宅や登下校中に地震が起こった場合についても話し合いましたので、ぜひご家庭でも、避難場所、持ち出す物や親の電話番号の確認など、いざという時の備えをしてほしいと思います。災害への対策はもちろんですが、私たちがこうして毎日不自由なく暮らしていることに感謝し、一日一日、その時々を大切にしていけることも子供たちに伝えていきたいと思います。



ツルガイド がんばっています

出水市では、小中学生を対象に「いずみツルガイド博士」検定を実施し、1級実技試験合格者は、ツル観察センター等の来場者にボランティアガイドを行っています。本校でも6年生の さんが令和2年度から、さんが令和3年度から、毎年12月から、冬休みや土日・祝日を中心に活動しています。休日にもかかわらず参加し、ガイドする前向きな姿勢が素晴らしいです。後に続く後輩が出てくることを2人が楽しみにしています。



大谷選手からグローブの贈り物

ついに大谷選手からのグローブが届きました。届いた日に、学校を代表して6年生が箱を開封し、グローブに触れました。手紙には「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」とありました。野球の道具としてだけでなく、夢や希望をもち努力することを学ぶ教材としても活用していきたいです。

